

## 令和5年度 事業計画

### 1. 基本方針

一昨年に続き昨年においても、新型コロナに始まり新型コロナ・オミクロンで終わった1年でした。

残念ながら当初計画していた各種事業が感染防止のため中止または縮小を余儀なくされつつも、会員皆様のご努力をいただき、会員数の減少を最小限にとどめることができました。また、事業実績も昨年度比で1,500万円を超える状況となり、一定の成果を得ることができました。

また安全面において、例年より損害賠償事故が多発し大変危惧されましたが、幸いにも人身事故を含む重篤事故がなく、胸をなでおろすことができました。

本年も会員皆様のお力をいただきますよう、心からお願いいたします。

我が国の令和5年度の国家予算が114兆円を超え過去最大となり、その中心は新型コロナウイルス感染症対策、物価高円高・賃上げ・成長のための投資と改革の経済対策、少子高齢化対策、エネルギー対策、防衛力の強化等であります。

高齢者労働行政においては、高齢者就業機会確保等事業、高齢者活躍人材確保育成事業、生涯現役支援窓口事業等シルバー人材センター、ハローワークなどの地域における多様な就業機会の確保を掲げております。

このことは、今後とも増大する高齢者の生きがい・働きがいをめぐり、一人でも多くの方々の社会参加を通して、今まで培ってきた経験・能力・技能を思う存分発揮していただくことが求められています。

昨年、道シ連において札幌市シルバー人材センターの会員を対象に医療費調査を行いました。その結果、当会員の医療費は札幌市在住の高齢者全体の医療費と比して、かなり低額でありました。シルバー人材センターでの就労が、健康増進に一役買っていると言っても過言ではないと存じます。

さて、本年10月から消費税に関し「インボイス（適格請求書等保存方式）制度」が導入されます。

制度の見直しについて全国運動を展開しましたが、残念ながら改定はされませんでした。全国の各センターにおいては、負担となる支払い消費税の原資を捻出するために事務費の増額に頼るしかないとの流れになっております。

発注者の負担増となりますが、当センターもやむを得ず同様の対応を選択していく方針です。

新型コロナウイルスの感染者数が減少し、通常の社会に戻る状況にありますが、各種の物価高等厳しい社会環境ではありますが、この1年乗り越えていこうではありませんか。

以下、次の実施計画を推進いたします。

## 2. 実施計画

### (1) 事業の普及啓発

- ① 新聞折込み広告を利用した「シルバー情報」を各戸に配布し、新会員の入会促進と就業拡大に繋がります。
- ② 会報「シルバー旭川」を発行し、会員や各関係機関、団体に配布し、組織及び事業活動についての情報提供に努めます。
- ③ ポスター等を作成し、公的施設や商業施設等に配布、会員拡大と普及啓発に努めます。
- ④ ホームページの内容を見直し、更なる情報の発信に努めます。
- ⑤ 報道機関への情報提供を通してシルバー事業の普及啓発に努めます。
- ⑥ 会員拡大に向け、実情に応じた入会・就業説明会を実施します。
- ⑦ 会員獲得に向け、出張説明会を実施します。

### (2) 会員組織の確立

- ① 「活動・活躍・活気・活発のシルバーライフ」を合言葉に、会員が一丸となり会員拡大に取り組みます。
- ② 会員の「知人・友人」の紹介等口コミによる新会員の入会を促進します。
- ③ 会員への研修会、講習会等の開催を通して、会員相互の連帯感を培い、事務局との意思疎通を図ります。
- ④ 「かたくりの会(女性の会)」を中心に、女性の入会促進にターゲットを絞った女性向けのイベントや説明会等の開催に取り組みます。
- ⑤ 新規事業の開拓や拡大、希望職種の変換、声掛けに努め、未就業会員の減少を図ります。

### (3) 就業機会の拡充

- ① 「自ら開拓、自ら就業」を合言葉に、役員・会員・職員による創意工夫を通して、普及啓発と就業機会の拡大に努めます。
- ② 「シルバー人材センター適正ガイドライン」を活用して、周知と理解を深めます。
- ③ 独自事業の新規の内容を検討し、将来に向けた就業の拡充に努めます。
- ④ 賛助会員をはじめ企業の訪問を行い、シルバー事業のPRと就業拡大に努めます。

### (4) 安全就業の推進

- ① 「安全はすべてに優先する」「健康第一」を合言葉に、安全就業に努めます。
- ② 安全意識啓発のため、安全標語の募集を実施します。
- ③ 会員の健康管理が大切なことから、会報や情報誌を利用した健康意識の啓発に努めます。
- ④ 研修会・講習会を通して、会員の安全意識の高揚を図ります。
- ⑤ 安全講習や安全パトロールの充実を図り、徹底した事故防止に努めます。

#### (5) 財政の基盤強化

- ① 事務局内の情報の共有や交換、職員相互の連携強化に努め、研修等を通じて事務局員の更なる資質向上を図ります。
- ② 事務局組織の充実と活性化を図り、公益性と収益性のバランスのとれた運営を行います。
- ③ シルバー事業を取り巻く環境が一段と厳しさを増す状況にあることから、尚一層の事業運営への努力と事務的経費の節減を図ります。
- ④ 受注の管理を徹底し、早期回収と未収金の防止に努めます。
- ⑤ 関係機関に対し、就業の提供、財政的支援の要請・確保に努めます。